

## 広域農道「岩湧地区」事業のあらまし

### 事業概要

広域農道「岩湧地区」は、南河内地域の農業振興を図るとともに、河内長野市の中心市街地から扇状に広がった谷筋沿いの農業集落を横断的に連絡し、農業・農空間の活性化や周辺道路の渋滞緩和による生活利便性の向上、定住環境の改善を図ることを目的とした農道です。

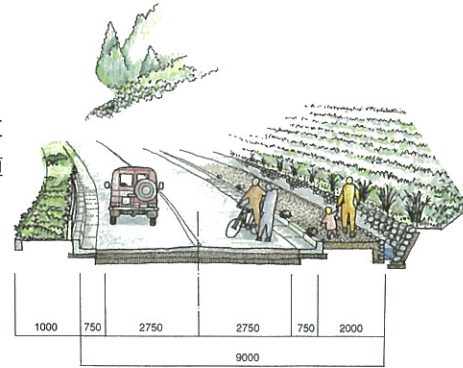
### 延長

約5.5km

河内長野市清水(国道371号)を起点に唐久谷、加賀田を經由し、日野(府道河内長野かつらぎ線)にいたる

### 幅員

9m(車道7m、歩道2m)  
(別途植樹帯1m)



環境整備や生き物、景観に配慮した道づくりに取り組んでいます。



マザーソイル工法  
(現地の表土を活用した法面吹付工法)



植生誘導吹付工  
(現地の伐採木のチップを活用した吹付工法)



石積水路による景観形成



小動物に配慮したはい上がり水路

### 表紙イメージについて

縦に延びる5本の線は、河内長野市内の5つの谷を表しています。歴史と森林資源豊かな川上谷(水)、生活インフラの進む天見谷(赤)、自然環境が豊かな加賀田谷(緑)、観光レクリエーション施設が点在する滝畑谷(青)、果樹生産が盛んな天野谷(黄)を広域農道「岩湧地区」が横につなぐ様子を表しています。

# 岩湧地区

広域農道「岩湧地区」は、南河内グリーンロードや一部周辺道路を活用することによって、農業・農村地域の振興のみならず、南河内地域周辺の活性化を促します。

また、河内長野市の地勢特性である5つの谷を結び、地域交流の促進や利便性の向上、地域の振興等に寄与します。

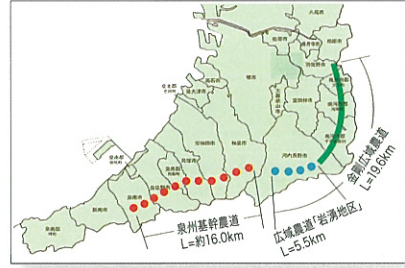


大阪府南河内農と緑の総合事務所

## 南河内の農業振興・地域の活性化

南河内グリーンロードと一体となって南河内の農業振興・地域の活性化に寄与します。

さらに泉州基幹農道と併せて泉州地域の農空間とも連携が可能になります。

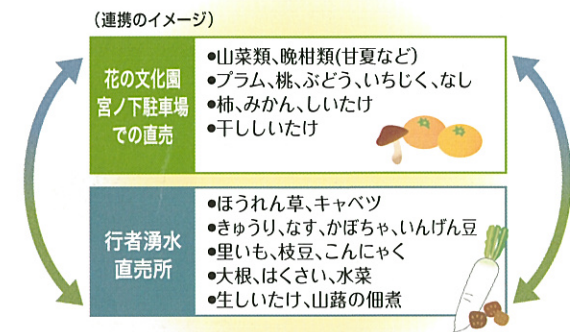


約6,722ha\*の農地が一体化

\*広域農道岩湧地区(2,413ha)と泉州基幹農道(4,309ha)の受益面積の合計

## 地産地消の推進

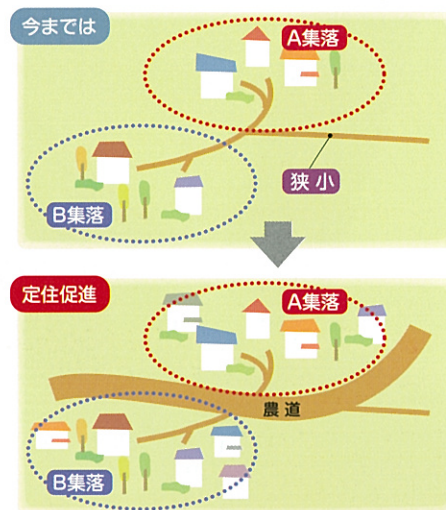
沿線にある朝市のネットワーク化が可能になるなど地域産の新鮮な農産物の提供に大きく貢献します。



朝市のネットワーク化により販売品目が拡大

## 農村集落の安全確保・定住促進

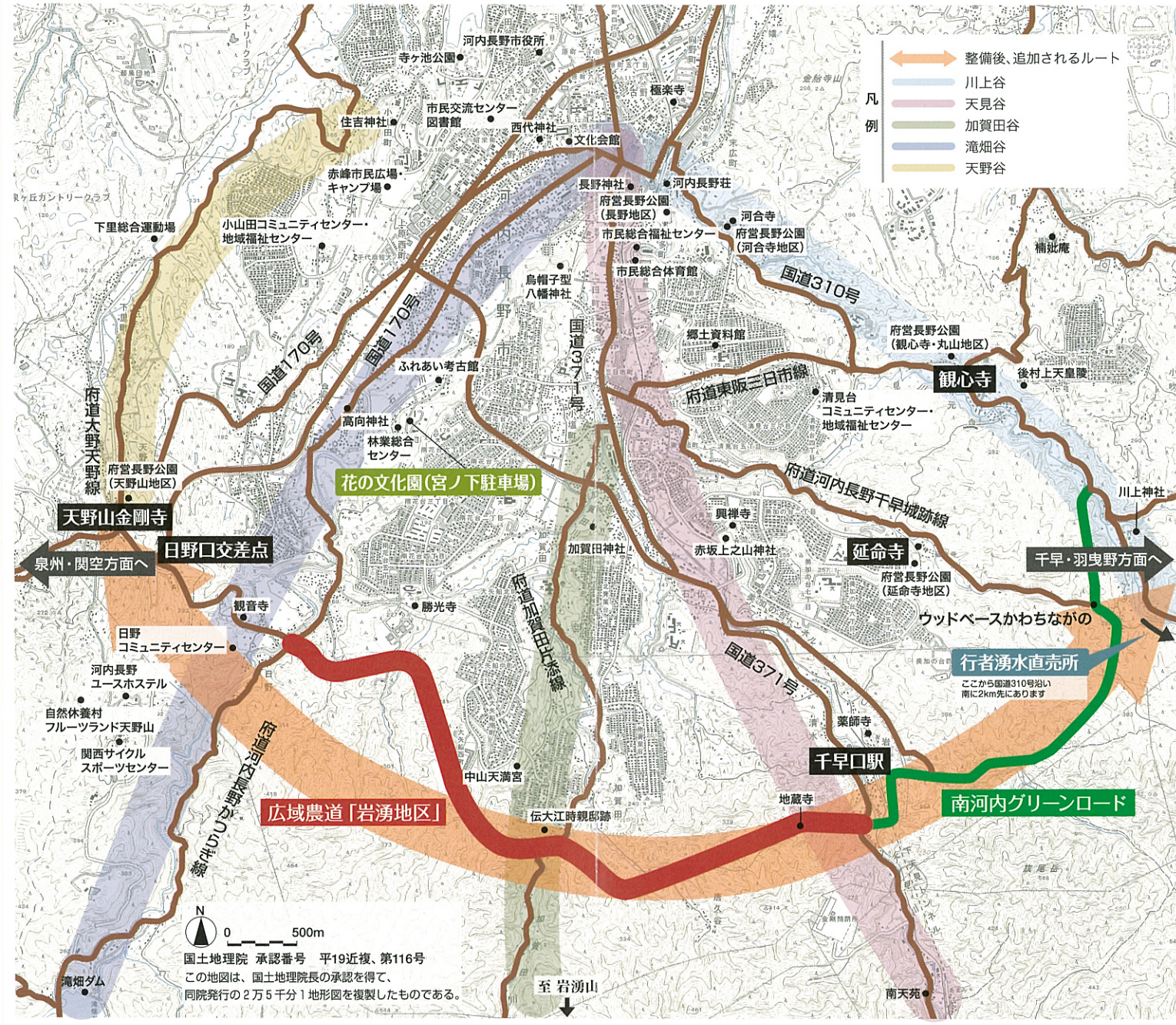
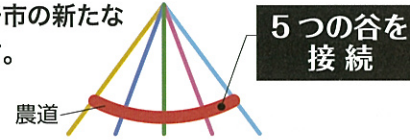
農道により農村集落を結ぶことによって、交通の利便性やまちの安全性が高まったため、集落への若者の定住を促進します。



緊急車両の進入もスムーズ

## 新たなまちづくりを先導

川上谷、天見谷、加賀田谷、滝畑谷、天野谷の5つの谷を接続し、河内長野市の新たな骨格を形成します。



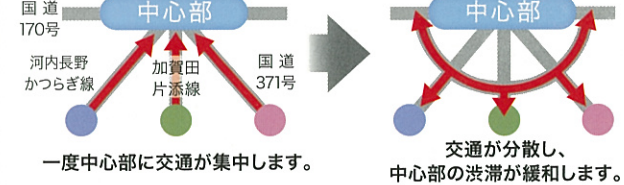
## 農産物輸送の効率化

新鮮な農産物の輸送の効率化を通じ、新規市場の開拓や市場競争力の向上を図ります。



輸送経費の縮減

## 市中心部の渋滞緩和



## 農地の利用促進



日野地区

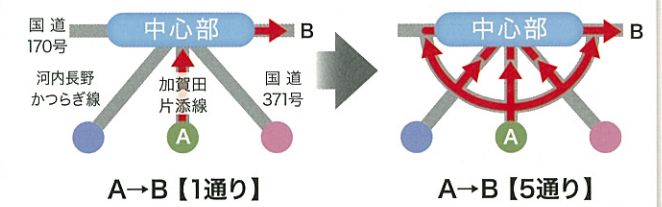


唐久谷地区

沿線で約10haの農地整備

## 交通道路ネットワークの充実

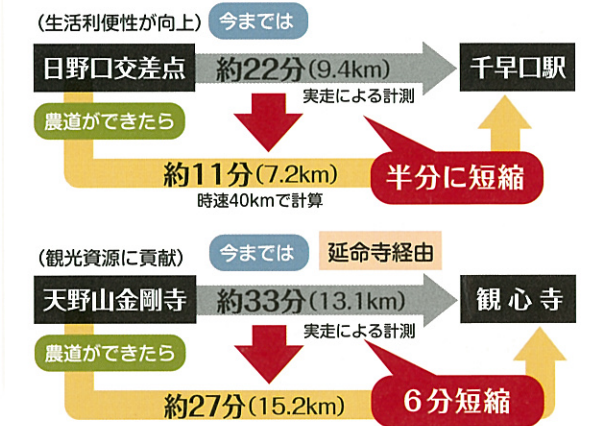
環状方面の新たな動線により、ルートを選択性が広がります。



農業振興や観光資源ネットワーク、災害時の代替ルート確保につながります

## 交通利便性の向上

国道371号や170号の渋滞区間を迂回することで時間短縮が図られます。



## ウォーキングネットワークの形成

テクルートと一体となってウォーキングネットワークを形成し、地域住民や、来訪者の健康増進、レクリエーションに寄与します。



岩湧山(年間利用者2万人)滝畑ダム(4万人)など周辺の自然資源・観光資源をネットワーク化

## 新たな地域振興施設の立地促進



農林関連施設の立地が促進されます。

ウッドベースかわちながの

沿道には約40万m<sup>2</sup>の平坦地を創出